

令和8年度 清水小・三中グループ小中一貫教育構想図

〔目指す子どもの姿〕

〔視点1〕

〔学校教育目標〕

思いやりの心 挑戦する勇氣

〔清水小 重点目標〕

〔清水三中 重点目標〕

チャレンジ ～自己肯定感の醸成～

自分から発信 ～自分から行動する、学ぶ、働きかける

〔9年間の連続性、系統性を強化した教育課程の編成・実施〕〔視点2〕

- 9年間の学びの系統性を捉えた教科研修
 - ・各学年、全教科の指導計画の共有
- 「海洋文化・防災」をテーマとした実践(軸となる取組)
 - ・海・港がある三中学区ならではの、9年間を貫く軸となる取り組みの実践
 - ・地域にある清水港にて、客船の寄港による国際交流、まちづくりプランの作成、海から見た防災学習

〔教職員の協働・児童生徒の交流〕〔視点3〕

- 主体的・対話的で深い学びにつながる研修
 - ・小グループ活動を活かし、表現の機会を設定
- 児童生徒の実態把握、一貫した指導・支援
 - ・小中の教職員が互いの授業、生活の様子を参観
- 9年間のゴールを見据えた指導
 - ・学習、生活における学区内スタイルの共通実践
- 児童生徒同士のふれあい、高め合い
 - ・中学校体験、生徒会活動紹介
 - ・小中合同での企画、行事を実施
- 養護教諭連携
 - ・基本的な生活習慣の確立とメディアとのつき合い方
 - ・静岡県版ソーシャルエモーショナルトレーニング
- 事務連携
 - ・学校預り金振替日を同一日に

〔小中の一貫した支援・指導の実践〕

清水小・三中学区内スタイル

〈学習〉

〈学校〉

伝える力をつける

能力・達成感・喜び

- わかり合える話し方・きき方
- ・発達段階に応じためざす子どもの姿を明確にする

〈家庭〉

自分から机に向かう

- 「家庭学習の手引き」活用
- 時間の目安
 - ◎10分×学年+10分
 - ◎1,2年2時間 3年3時間
- 読書・自学の推奨

〈生活〉

〈学校〉

自ら判断する

相手を思いやる行動

- 挨拶・言葉遣い <学校・家庭・地域で>
- ・温かい反応 ・はっきり返事 ・思いやりある言葉

○小さな親切あいさつ運動

○心を伝える3つの言葉
(おはよう ありがとう ごめんない)

○時間を意識して守る

○みんなのために進んで清掃

〈家庭〉

心身ともに健康な生活の基盤を作る

- 規則正しい生活
(早寝・早起き・朝ごはん)
- メディアコントロールデー
- 家族とのかかわり

児童生徒の主体性・積極性及び表現力を養う

〔地域との連携〕〔視点4〕

- 地域の方とともに行う授業・行事
 - ・地域行事への積極的な参加
 - ・インターネット安全利用講座(小6～中3)
 - ・メディアコントロールデー(毎月11日)
 - ・小中面談日統一
- 小中学校運営協議会の推進
 - ・三光町花の会との共同作業(三光町花壇定植・奉仕作業)
 - ・地域防災
 - ・清水地区運動会

〔子どもの実態〕

- 何事に対しても誠実に、指示されたことにはまじめで前向きに取り組むことができる。
- 落ち着いた態度で学習に取り組むことができる。 ○自己や他者の良さを見つけようとする事ができる。
- △自ら進んで主体的・積極的に取り組むことは苦手である。
- △友達の意見に反応したり、自分の思いを話して伝えたりする表現力に課題がある。
- △他者との関わりの中で、折り合いをつける力に課題がある。